

みんなで学ぼう! 公的年金 vol.1

公的年金のこと、どのくらい知っていますか?

みなさんは、公的年金についてどのくらいご存じでしょうか。

「難しい」

「よく分からない」

といった印象を持たれたり、ニュースや新聞などでいろいろな話題を見聞きして、ご自分が受け取る年金に不安のある方もいらっしゃるでしょう。

また、次のように聞いたことがあるかもしれません。

少子高齢化で、財源が不足し、年金が受け取れなくなる

自分の納めた保険料は貯金と同じように積み立ててある

保険料を納付する人が減ったので、公的年金は破綻する

就職するまでは保険料を払わなくていいんだよね

でも、これらはすべて **誤解** です。

年金額がゼロになることや、公的年金制度がなくなることもありません。また、貯金と同じように積み立ててあるわけでもありませんし、20歳になったら就職していなくても保険料を払う必要があります。

20歳からの年金については
広報誌1月号をご覧ください

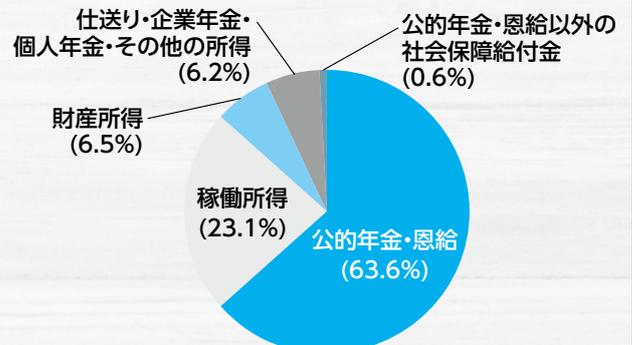


公的年金はこんなに大事!

日本国内における高齢者世帯の収入のうち、6割を年金が占めており、高齢期の生活のかなりの部分を支えるものとして、公的年金制度は極めて重要な役割を果たしています。

また、現役世代にとっても公的年金によって、親の経済的な生活の心配をすることなく安心して暮らすことができるようになっていきます。

さらに、「高齢になって働けなくなった」、「障がいを負った」、「現役のうちに亡くなってしまった」などの事態にも対応しており、みなさんが安心して毎日を過ごすためにも必要不可欠です。



高齢者世帯1世帯あたり平均所得金額(312.6万円)

『財政検証』～公的年金の健全性をチェックする仕組み～

公的年金は、日本を支えたみなさんの生活を守る大切な制度です。日本の社会や経済が変化しても制度がきちんと保たれるように、色々な仕組みが組み込まれており、そのうちのひとつとして『財政検証』という仕組みで公的年金が健全に運営されているか定期的にチェックされています。

いわば公的年金の定期健康診断です

財政検証は、少なくとも5年に一度、公的年金財政(保険料収入や給付に必要な額の収支)の健全性を検証する仕組みで、今後の日本の人口や経済の見通しをもとに、これからの100年間、どのように公的年金の財政状況が推移するか計算します。



財政検証の結果はレポートとして公開されており、そこから今後の公的年金の給付水準の見通しなどを知ることができます。

財政検証結果レポート

<https://www.mhlw.go.jp/nenkinkenshou/report/index.html>



お問い合わせ先：稚内年金事務所 電話 0162-32-1941

住民生活課 住民グループ 電話 5-1112 告知端末機 5-8812